



学校だより



令和5年 9月29日
10月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> Tel.042(481)7636

コミュニケーション能力を高めるために

副校長 山崎 清香

9月26日(火)に、東京都の事業「外国語に触れる機会の創出」でイングリッシュキャラバンを実施しました。英語による自然なやり取りを行う機会を設け、コミュニケーション能力の向上や国際理解教育の推進を図ることを目的としています。

当日は、アメリカ、カナダ、ケニア、フィリピン出身の5名の方が来校し、全学年英語の授業を実施しました。1・2年生は「一緒に遊ぼう!」、3・4年生は「外国の遊びを体験しよう!」、5・6年生は「英語で買い物をしてみよう!」というねらいで、皆、生き生きとゲストティーチャーとのやり取りや活動を楽しんでいました。学習中の表情は笑顔で、「英語、楽しい!」という思いが伝わってきました。

さて、これからの時代を生きる子どもたちにとって、より多くの外国人と交流する機会が増えています。そのような中、子どもたちが自らすすんでコミュニケーションを図ろうとする態度や豊かな国際感覚の醸成を東京都は目指しています。

本校では、1年生から外国語に触れる機会を設定しています。授業を重ねることで、日常会話を英語で話すことを目標としています。さらに高学年では、自分の考えなどを表現する実践的コミュニケーション能力を養うことをねらいとしています。



ところで皆さんは、「コミュニケーション能力が高い人」と言われて、どのような人を思い浮かべますか?話が上手な人と答える方も少なくないと思います。話が上手な人のことを「コミュニケーション能力が高い」と褒めることがよくありますが、話が上手な人は、実は、同時に聞き上手でもあります。相手の話をしっかり「聞いて」いるからこそ、相手に伝わる話ができるのです。

また、思いやりの気持ちや共感能力をもてるかどうか、コミュニケーション能力に関わっています。コミュニケーション能力が高い人は、話をしっかり受けとめ、ちょっとした言葉遣いや話し方の抑揚から相手の本音に気付いたり、その話を自分に置き換えて考えたりすることができます。相手の気持ちを的確に汲み取ることができれば、多くの人に愛され、信頼されることにもつながりますね。

大人は、日々の生活の忙しさのあまり、子どもの話を聞くことが疎かになりがちですが、まずは、話を聞いてあげることで子どもに安心感を与えるのはもちろん、コミュニケーション能力を高める手本を示していきたいものです。

10月の生活目標 すすんで仕事をしよう

学校では、いろいろな人が力を合わせながら働いています。教員はもちろん、給食を調理する栄養士・調理員、皆が使っているものをそろえる事務主事、学校の安全を守る用務主事・校舎管理補助員など様々です。協力しながら働くことの良さに気付かせ、子供たちに、すすんで仕事をする大切さや喜びを理解させたいと思います。みんなのために役立つ仕事を積極的に行うことのできる子供であってほしいと思います。